

| | | | | |
|------|--|-----------------------------|-----|-----------------------|
| 校訓 | 盡己 | 令和6年度学校通信 「松中だより」 第1号 | 発行日 | 令和6年4月12日 |
| 教育目標 | 未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成育成 ～地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して～ | | 発行者 | 伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己 |

【新年度がスタートしました】

179人の新入生を迎え、新2年生173人、新3年生210人、全校生徒合計562名で令和6年度がスタートしました。今年度もよろしくお願いたします。

【第50回入学式 式辞】・・・[前略]・・・

179名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また保護者の皆様にもお子様のご入学、心よりお祝い申し上げます。

さて、松崎中学校は今年度創立五十周年を迎えます。この五十年間、ずっと引き継がれてきた「校訓」があります。舞台に向かって左側に掲げられているものが校訓で「盡己」（じんこ）と読みます。意味は「己を尽くす」「一生懸命やる」「ベストを尽くす」ということです。今、ここに座っている新入生のみなさんも中学校入学を機に、何かしら「頑張ろう」と思っているのではないのでしょうか。

ここで、大切なことは「何を一生懸命やるか」「何にベストを尽くすか」ということです。松崎中学校が目指しているのは、「先生や先輩に言われたこと、与えられたこと、指示されたことを、言われたとおりに、ただただ一生懸命やること」ではありません。

みなさんには、これから先の予測不可能な社会の中で、答えのない課題に立ち向かい、生きていかなければならないといわれています。そのような社会の中でよく生きていくために、「自分で考え、判断し、責任を持って行動する力」が求められています。自分の目標を達成するには何をしなければならないか、社会の中で、たくさんの人よりよく生きていくためには何が必要かを、誰かに決めてもらうのではなく、自分で考えていかなければなりません。

松崎中学校はあらゆる教育活動をアップデートして、「自分で考え、判断し、責任を持って行動する力」、つまり「みなさんが「自律と主体性」を身につけ、成長していくサポートをしていきたいと考えています。

新入生のみなさん、最初は、すべてが初めてのことばかりです。どうしても「言われたことをやる」ことが多くなるかと思いますが、学ぶべきことはしっかり学び、中学校生活に慣れ、「自分で考え、判断し、責任を持って行動する力」、「自律と主体性」を身につけるため、しっかり勉強していきましょう。先生たちも頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様、お子様にとっての中学校三年間は、心身ともに最も成長する時期です。同時に、いわゆる思春期の、多感で不安定な時期でもあります。これからの三年間、お子様を責任持ってお預かりいたしますが、「社会総がかりの教育」ともいわれております。ご家庭や地域としてのお力添えがなければ、今の教育は成り立ちません。どうぞ、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

さあ、今日から中学校生活が始まります。今日から皆さんは松崎中学校の仲間です。一緒に頑張りましょう。



令和六年四月十日

伊丹市立松崎中学校長 今井 克己